



玉名ロータリークラブ週報

2018
?
2019



インスピレーションになろう

R I 会長	■	バ	リ	・	ラ	シ	ン
地区ガバナー	■	高	山	泰	四	郎	
会長	■	本	田	正	美		
幹事	■	田	中	雄	三	郎	
公共イメージ向上・IT委員長	■	西	嶋	興	生		

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

令和元年 5 月 23 日 No.2434

玉名 RC メールアドレス jimu@tamanar.club

ホームページ <http://tamanar.club>

【会長の時間】 本田会長

こんにちは、もう日中は暑いですね、汗が普通に出てきます。先週の土曜日に八代東 RC の 30 周年式典へ中嶋ガバナー補佐、大石会員、鶴田会員、吉田会員とで行ってまいりました。

記念講演がありまして、柔道の金メダリストの古賀選手のお話を聞いてきました。印象深かったのは金メダルとった試合ではケガをしていたそうです。別試合でランク下の選手とやっていた時にケガしたもので、その選手のためにも絶対に決勝戦は負けられなかったんだ、というお話しでした。友情と絆を感じたお話でした。

講演のテーマが、「夢の実現に挑戦することの大切さ」でして、古賀さんはいろんなことを感じられ、人一倍頑張って練習して、そしてオリンピックではケガをおして優勝されるという、すごい苦勞された方だったんだなと思いました。



西日本建設新聞から記事を紹介します。大津まで高速道路ができるって話しを以前しました。あの道路計画は決定したようで、大津までインターチェンジも 2 つできるそうです。またその高速道路周辺に工業団地建設の計画もあるそうです。お耳に入れといてください。

【幹事報告】 田中幹事

○熊本西 RC より、例会変更・取り止めのお知らせがきています。日時：6月18日（火）⇒同日18：30～
場所：トラットリアロッソ

6月25日（火）⇒例会取り止め

○2018-19年度 RLIディスカッションリーダー研修
開催のご案内がきています。

日時：6月9日（日）13：30～16：30

会場：熊本県民交流パレア9F 会議室1

*研修を受けられた受講者（1.2.3.）全員対象です。



【委員会報告】

◎社会奉仕委員会 広瀬委員長

6月2日の日曜日の早朝6時半に、立願寺公園足湯の場所にてクリーン作戦を予定しています。皆さんの参加をよろしくお願ひします。



◎次年度幹事 堀本会員

回覧でまわしていますが、来年度の名刺作成を承っています。来年度のRIのマークが入った名刺と、入っていないの年度でも使える名刺と2種類を用意しています。ひとくち100枚ですので、長く使われる方はマーク無しの名刺がよいかと思われます。金額はクラブが半額負担しますので、1000円になります。希望される方は回覧へ丸をお願いします。



【出席・スマイル報告】 大石委員長

本田会長・田中幹事・・・渡邊知宜会員卓話ありがとうございます。
 ございます。暑くなってきました。熱中症に気をつけて、外出は、今日傘が流行っているみたいですよ。
 村上さん・・・渡邊知宜会員卓話ありがとうございます。
 楽しみにしております。

田畑さん・・・渡邊知宜会員の卓話よろしくお願ひします。
 久しぶりの先輩のロータリー情報のお話を楽しみにしています。

志賀さん・・・渡邊知宜会員卓話ありがとうございます。

小篠さん・・・渡邊知宜会員卓話ありがとうございます。

松崎さん・山田司さん・鶴田さん・吉田彰さん・小山さん・・・渡邊知宜会員卓話ありがとうございます。

深見さん・・・本日の卓話で渡邊さんから私の父の話を少ししますよとお伺ひしてたのですが、予定入って降りまして、お聞きすることが出来ず残念です。

田原さん・・・渡邊知宜会員卓話ありがとうございます。結婚祝ありがとうございます。
 古稀の祝に夫婦で旅行に行き例会を欠席いたしました。



前回までの累計 ￥847,000

今 回 ￥17,000

合 計 ￥864,000

本日の出席	会員数	52 (49) 名	欠席者	浅地 福田 浜田 平田 井上 古賀 児玉 宮本浩 前田 中嶋 野田 西嶋 西田 小関 杉谷 坂梨 品川 瀧川 上村 上田継 山田勝 吉永 山口 吉岡 吉田光
	出席数	24 名		
	出席率	48.98%		
前回の出席	前回出席数	28 名	前回のメイクアップ	井上 小関 田原
	修正出席数	31 名		
	修正出席率	62.00%		
出席規定適用免除者		6 名		

【今後のプログラム予定】

5月30日（木） クラブ協議会・委員会報告

【卓話】 渡邊知宣会員 「思うこと」

堀本会員から卓話の機会をいただきました。もうわたくしも頭も話すことも多少トロくなりまして、いわゆるボケがきているのかなあとと思います。川柳に「忘れ物、ひとつふたつはなんのその」という句を見つけました。いやわたくしならばふたつどころか、4つも5つも持ち合わせているので笑。こんな頭でお話しさせていただきます。



私は昭和55年に35歳でこの玉名RCへ入会しました。当時、高木孝英会員から、「宮司の仕事だけでは世間のことが何もわからないだろう」とお声をかけていただきました。それから40年の月日が経ちます。

昔はひとり一業種があたりまえで誰かがひとり反対すれば、入会できないと、そこは徹底していました。出席に関しても4回欠席すると退会せざるを得ない、そんな厳しさもありました。よってメーキャップがとても重要でして私もメーキャップで罪滅ぼしさせてもらってました。

深見会員のお父様が会長された時に私は幹事を仰せつかりました。深見会長はとても熱心な方でした。その日の例会に備えて、今日は何を喋りましょうか？と毎週毎週、私の神社へ来ていただいて打ち合わせしたものです。ほんとに真剣にロータリー活動をしてまいりました。

平成8年、50歳の時に会長職を受けました。その年が30周年でありまして、玉名市民会館で式典を行いました。式典には韓国からも夫婦同伴で沢山の方々が来られました。とにかくみんなで人集めに力を入れて、全登録者数が500名を超えてしまいました。

姉妹締結した馬山中央からはほぼ全員の会員が玉名へ行く并希望されてたのですが、当時はそう多くの方が渡航するのが難しい時代でした。そこで我々は門司の韓国の領事館へ出向いていき、韓国の方々を招待するんだといった内容の招聘状を何度も提出しましたし、私も5～6回ほど韓国へ行ってまいりました。まだその頃の韓国は発展途上国でして、建物もまだそう立派とは言えないものでした。ところが先週の山口委員長がおっしゃったように馬山は玉名なんて目じゃない、大都市になりました。



そして多くの韓国の皆さんが司ロイヤルホテルさんに泊まりました。そしたら着いてから代表の方がこういう申し出をされたんです。「登録料を半額にしてほしい」。

当時の大会委員長だった山田司郎会員のお父様である山田委員長が相談にのりまして、ここまで来てこのように言われるのはよっぽどなことだろうということで、半額にすることを了承しました。みなさん、当時の韓国の方々はそれほど苦しい時代を過ごされてたということなんです。



山口委員長がこういわれましたよね。馬山中央の会長が玉名クラブのみなさんに恩返しをしたい！と。お金はいくらでもあるから、玉名の全会員おひとりおひとりを最高におもてなしさせてほしいと。当時関わっている会員さん含め、皆さんわかってるんですね、みんなで苦勞してこられたんです。ようはそういうことなんです。なので今回の馬山中央さんの周年式典の参加、とてもいい機会です。是非行くことをお勧めします。絶対いい経験になりますよ。

ロータリーには3つの義務がありますね、例会出席・会費納入・ロータリーの友読むこと、ですね。この3つは義務なんですよとありますが、これを3つの特権と考えたらどうでしょうか？例えば例会ですが、多くの方と会えるわけですからちょっとした用事もここで済むわけなんです。またたくさん知識もここで得ることができます。さらに美味しい豪華なランチもいただけるわけです。これを義務と思ったらもったいないと思いませんか。ロータリーの会員になったからこそこんなことができるんだという特権を持ってらって考えたらどうでしょうか。日常の仕事から少しの時間離れて、人のためになることをみんなで考えてみる、それが例会ではないのでしょうか。

会費ですが、このお金を納めさえすれば今から日本中、いや世界のどこのクラブでも行くことができます。そして大歓迎で迎えてくれますし、自由に出入りでき、お話しできるんです。これはロータリアンじゃなかったらできないし、これを特権と言わずして何と言おうかってことなんです。



私も会費をかれこれ40年間収め続けてきました。ざっと計算すると通算、800万円近くになります。よくもまあ払ってこられたなと思います。そしてこの800万、実はここから2～3割がロータリー財団等を通して、世界の貧しい人々に使われているんです。そう私達は例会に出席しようがしまいが、会費を納めることで世界に貢献しているのです。ロータリアンであることに胸を張っていいんです。

ロータリーの友ですが、この冊子ご存知と思いますがロータリーのことだけではなく、一般常識や知識的なことがふんだんに書かれてあります。記事をおこされてる方も、業界の方だとか、その方面の有識者ば

かりではないかと思ひます。読まない手はない、これも特権だと思ひんです。失礼ながら私はロータリーの友をトイレに置いてます。ここに置けばいつでも手に取ることができます。

ロータリー出身であり、ロータリーの精神を以て活躍された著名な方々が沢山いらっしゃいます。少し紹介してみます。少しでもロータリアンであることに自喜と誇りを持っていただければと思ひます。

世界中の人々が、互いに理解し合い、助け合い、貧困無く、平和であることを究極の目的として学び合う団体「ロータリー」は1905年（明治38年）に創立しました。全世界の現在のロータリアン数は、約120万人です。

『著名なロータリアン』

- ジョン・F・ケネディ（第35代米国大統領）
- トーマス・エジソン 蓄音機・白熱電球・電話機・発電機他を発明
- カーネル・サンダース ケンタッキーフライドチキン生みの親
- ダグラス・マッカーサー 終戦時の連合軍最高司令官
- ニール・アームストロング 人類初の月面着陸宇宙飛行士
- ウィンストン・チャーチル イギリス元首相
- マーガレット・サッチャー イギリス元首相
- 松下幸之助 松下電器産業創業者 PHP研究所設立
- 小林一三 阪急グループ創始者、宝塚歌劇団創設
- 久邇邦昭 旧皇族・昭和天皇の甥
- 千 玄室 15代千宗室

『ロータリーの夜明け』

「ロータリーの歴史を知ること」「ロータリーを学ぶこと」は、ロータリー精神を高めてロータリーの奉仕の心を強固なものにするために必要不可欠なことです。

- 1905年 米国のシカゴの地にロータリークラブ誕生
第1回会合（2月23日）ローアの事務所で4名が会合。
 - ・ポール・ハリス氏（弁護士）
 - ・シルベスターシール氏（石炭商）
 - ・ガスターバス・ローア氏（鉱山技師）
 - ・ハイラム・ショーレ（洋服屋）
- 1906年 綱領制定（第1条 互惠主義 第2条 親睦）
- 1907年 追加綱領制定（第3条 地域貢献 第4条 国際平和と親善）
- 1908年 サンフランシスコ RC 誕生（サンフランシスコ） 会員200名
- 1910年～11年 全米ロータリークラブ連合会結成（会長はポール・ハリス選出）
16クラブ誕生、1500名

- 7月を年度初めに変更。米国以外での第1号としてカナダのウィニペグ RC 創立
- 1911年～12年 ヨーロッパへ拡大
28クラブ誕生、2500名
- 1916年～17年 ロータリー財団設立 (会長アーチクラフ)
247クラブ誕生、27000名
米国ダラスでライオンズクラブ誕生
(創立者のメルビン・ジョーンズはもともとロータリアン)
日本では1952年に東京ライオンズクラブ誕生。
ライオンズクラブは個人奉仕より団体奉仕に重点を置く。
- 1920年～21年 東京ロータリークラブ誕生 (世界で855番目)
約1000クラブ、70000名
- 1922年～23年 大阪ロータリークラブ誕生 (世界で1349番目)
約1500クラブ、90000名
- 1940年 戦争のため日本はRIを脱退、1949年復帰
約7000クラブ、300000名
- 1967年 玉名ロータリークラブ誕生、(創立6月29日 承認8月7日)
東京→大阪→福岡→熊本→熊本南→玉名
- 1983年 玉名中央ロータリークラブ誕生、(創立4月15日 承認4月27日)
- 2013年現在 世界で約34000クラブ、1200000名
日本で約2300クラブ、90000名

※ 当初は2週間毎の例会であった。

当初は1業種1名の会員で互惠と親睦を目的とした。そして社会奉仕、国際奉仕へと拡大。

『ロータリーの夜明け』

ロータリーという団体が1905年2月23日に誕生してから100年以上を迎えます。
世界120ヶ国、34000クラブ、120万人の仲間の会員がロータリー活動を行っています。
物事の推進は何事も良く知ることから始まります。知らずして意欲もわかず成果も上がりません。

先人のロータリアンがロータリー活動を良く理解され、「ロータリーは素晴らしい」と感じて努力を続けられたからこそ人々に受け入れられて、今日まで発展してきたものと思います。
最低でも毎週1時間、年間20万円(10年で200万円、30年で600万円)以上の時間と費用を注いでの奉仕活動です。他の人々のために、そして自分のためになることが重要でしょう。

ロータリーを理解する早道は、ロータリーに感動することだと思います。そのことによって自分自身のロータリーに対する情熱も高まります。人により感動の対象は異なるかもしれません。

① ロータリーの目的に感動する

- ② 先人のロータリー活動に感動する
- ③ ロータリー活動によって助けられた人々の姿に感動する

これらの感動を体験するためには、やはり最低限の努力が必要でしょう。

- ① 例会に出席する
- ② その他の会合に参加・出席する。
- ③ クラブのロータリー活動に参加する
- ④ 「ロータリーの友」やロータリー関係の冊子を読む
- ⑤ ロータリーに関する卓話・講演を聞く

これらの中には必ず涙が出るほどの感動を受けるものがあるでしょう。ぜひ自分なりに、その感動を見つけ出してください。そしてその道を目指して下さい。…他の人々のために、そして自分のために…

「ロータリーとは何か」

ロータリーは他（相手）への奉仕を単に目的とする団体ではない。「他を思いやる心」を学びあい高めあう事により「他へ奉仕する心」を育て強め、そして奉仕を実行していく団体である。この点が他のボランティア団体と異なる点である。

このため学び合う場としての毎週一回の例会出席が重視され、さらに一業種一人の会員制度により、気楽に本音で話し真剣にこの精神を学びあうことが出来る。この「他へ奉仕する心」はまず自分の職業を通して行う「職業奉仕」を基本とする。加えて社会奉仕、国際奉仕へと幅を広げていく。

このように「他を思いやる心」を学ぶことを目的とすることが、ロータリーの原点であり最大の魅力である。

- ・ロータリーの心とは「他（相手）を思いやる心」のこと。
（寛容・和・仁・慈悲・愛情・利他主義等）
- ・ロータリアンとは「他（相手）を思いやる心学ぶ人々」のこと。

2月は「世界理解月間」

世界中の人々が互いに理解し合い、助け合い、平和であることを究極の目的とする「ロータリー」は、このロータリーが誕生した2月という月を「世界理解月間」と決めています、また2月23日の創立記念日を「世界理解と平和の日」と定めています。

この大きな究極の目的も、私たちロータリアンの一人一人の日常の活動に支えられています。そのためには現在行っているロータリーの目標や活動を理解し、賛同し、協力することが大切でしょう。

ロータリーの友誌に投稿されていた一つの記事を読んで感動し、現在進められているポリオ撲滅の意義を知りました。その記事を紹介してみたいと思います。

『に一たん、に一たん、あーがとー』

小学生のころ、放課後はいつも憂鬱でした。友達と遊びたかったけれど、総菜屋をしていた両親に代わり三歳年下の妹の面倒をみるために、すぐに帰らなければならなかったのです。

僕の日課は乳母車を押して妹を公園に連れて行くことでした。妹が楽しそうな表情で「に一たん、に一たん、あーがとー」と言ってくれるのがうれしかったのです。

サッカーをする友達を眺めながら何か言います。「ボールを蹴ってみたい・・・」 そうです、彼女は歩けず言葉もはっきり言えません。脳性小児麻痺、いわゆるポリオだったのです。何度か足を手術しましたが、ダメでした。僕が中学校へ入って間もなく妹が入院。筋委縮で体が動かなくなってきたのです。

ある日病院へ行くと、いつもの笑顔で「に一たん、に一たん、あーがとー」と言ってくれました。僕は胸が痛くなり、できることなら代わってあげたい、真剣に思いました。

数年後のある夏の日、妹が浴衣姿で盆踊りに挑戦しました。不自由な手足を一生懸命に動かして踊る妹を父がやさしい眼差しで見っていました。その翌年の三月、44歳だった父が脳出血で他界。そして7月に妹が後を追うように逝きました、16歳でした。その時、気丈な母が号泣する姿を初めて見ました。

大学生の私は喪失感と孤独感から自暴自棄の生活を始めました。大学を中退、職を転々としホームレス同然の生活もしました。いい出会いがあつて貿易会社にやっと落ち着くと無我夢中で働き独立、会社が軌道に乗り始めたころ、取引先の社長に勧められるままにロータリーに入会しましたが、3年間は退会することばかり考えていました。

ある例会でロータリーの友の中に「ポリオ」という言葉を見つけ真剣に読みました。ロータリーでポリオという言葉に出会うとは思いませんでした。「ポリオ撲滅キャンペーン」このプロジェクトを通して初めてロータリー活動に興味を持ちました。ロータリアンの手によって世界の子供にワクチンが投与される・・・本当に感動しました。役に立ちたい、とポリオ基金へ寄付。近い将来、直接ワクチンを届けようと思っています。妹の死後ずっと自己中心の生き方をしていたような気がします。

些細なことでも人に優しくしてあげることの喜びを久しぶりに感じました。人に優しく笑顔で声をかけ、道端のゴミをさりげなく拾えるようになっていました。ロータリーは私にとって失われた少年時代の心を再発見する場だったのです。仲間にもまれロータリーライフを満喫しています。今は再び僕の心の中で妹の声が聞こえてきます。「に一たん、に一たん、あーがとー」と。

(平成18年7号ロータリーの友 小倉東 RC 小川研次氏投稿記事より)